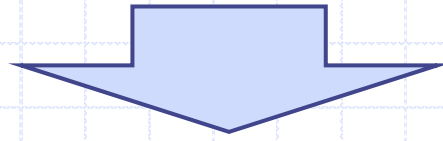


統計・ファイナンス プログラム

技術・分析能力を手にして
社会に出よう



統計・ファイナンス プログラム
が
提供する「技術」

1. 確率論と統計学
2. 計量経済学
3. 計量ファイナンス

sequence ごとの科目履修例

	統計学 sequence に重点を置いた例	計量経済学 sequence に重点を置いた例	計量ファイナンス sequence に重点を置いた例
研究科コア科目 [≥4]	上級ミクロ経済学[4] 上級計量経済学 I [4]	中級計量経済学[4] 中級マクロ経済学[4]	上級マクロ経済学[4] 上級計量経済学 I [4]
選択必修科目 [≥8]	上級統計学 I, II [2] 確率論 I, II [2] 確率・統計特論[2] (大標本理論) 計量経済学特論[2] (数理ファイナンス I, II) 情報処理論 B[2]	上級計量経済学 I [4] 計量経済学特論[2] (数理ファイナンス I, II) 確率・統計特論[2] (大標本理論) 計量ファイナンス特論[2] (金融工学) 情報処理論 B[2]	ファイナンス経済論 A, B[2] 計量ファイナンス A[2] 計量経済学特論[2] (数理ファイナンス I, II) 計量ファイナンス特論[2] (金融工学) (保険数理) (リスク管理論 I, II)
共通の必修科目 [≥12]	ワークショップ[2]、演習[6]、インディペンデント・スタディ[4]		

[≥4]、[≥8]、[≥12]はそれぞれ4単位、8単位、12単位以上必要であることを意味します。

(注) このページの表は、科目の全てを網羅するものではありません。また必ずしも毎年度、開講されるとは限りません。あくまでも参考例なので、詳しくは担当教員に問い合わせして下さい。

本プログラム関連教員

ゼミやインディペンデント・スタディー等で指導できる教員

石村、川口、黒住、桑名、
齊藤、斯波、下津、田中、
本田、渡部*、祝迫*

*経済研究所所属（学部4年生の指導はしない）

統計ファイナンスPの学生

5年一貫 + 修士課程

◆	1期生 (H18卒)	4人 + 1人
◆	2期生 (H19卒)	4人 + 1人
◆	3期生 (H20卒)	2人 + 7人
◆	4期生 (H21卒)	3人 + 6人
◆	5期生 (H22卒)	3人 + 5人
◆	6期生 (H23卒)	5人
◆	7期生 (現在所属)	3人 + 2人

* cfec所属の学生は、他に5人。7期生は合計10人。

Q1. 就職・内定先（順不同）

あいおい損害保険、アクセンチュア、国際協力銀行、国際投信投資顧問、損保ジャパン、第一生命、大同生命、DIAMアセットマネジメント、中央三井アセット信託銀行、ニッセイアセットマネジメント、日本銀行、日本生命、農林中央金庫、野村アセットマネジメント、野村証券、バークレイズ銀行、マニユライフ生命、みずほコーポレート銀行、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループ、三菱UFJ信託銀行、明治安田生命、その他

Q2. 職種

□ 部門別

(債券運用、商品開発、アクチュアリー)

□ 総合職

Q3. 就職活動では、5年一貫の学生であることが有利に働いたか？

(肯定的意見)

- ☺面接時のネタになる (逆に負担になることも)
- ☺数理的素養を強調できる
- ☺専門性の高い職種への門戸が広がる
- ☺理系の院卒に引けをとらない

(否定的意見)

- ☹飛び級したという意味では特に好印象を与えず
- ☹総合職として入るならば、学部卒の方が有利だと思う

Q4. このプログラムの提供科目は 将来の仕事に役立ちそうか？

- (とても) そう思う
- 実務で必要な理論的基礎は十分学べる
と思う
- 役立つような業務に就きたい (就職後
も勉強を続けていきたい)

Q5. 修士課程に入って、必要な単位取得は大変か？

- 修士論文作成と同時並行はきつい
- 夏学期に単位を揃えようとすると、課題の多い科目を取りづらい
- 隔年開講もあり、選択必修科目を落とせない重圧がある
- それ程でもない
(4年次から大学院ゼミ等に出ているので、忙しさは変わらない)

Q6. 参加してよかったこと

- ◆ 割り当てられる設備(貸与PCやワークステーション、計算ソフトウェア)の数や質がよく希望時にすぐに使用することができた。
- ◆ 専門領域が近い人とのコミュニケーションからよい相互作用が産まれている。
- ◆ 資格勉強の為の本や資料が充実している。

Q7. 不満・要望は？

- 学部を含め、ファイナンス系の授業が非常に少ない（今年度から改善）
- 選択必修の制約が厳しい
- このプログラムに固有の制度がわかりにくい

後輩へのアドバイス

- 専門性の高い職種を目指すのなら、このプログラムへの参加を勧める
- 分野が多岐にわたるので、学部的时候可以できるだけ多くの科目を履修し、視野を広げておくとよい
- なるべく、コア・選択必修科目を上げた方がよい
- 卒論は早めに取りかかった方がよい
(就職活動と重なるので大変)

充実した研究環境

5年一貫の統計・ファイナンスに所属すれば、

- ◆ MTの金融工学教育センターに机や椅子
- ◆ 貸与パソコン
- ◆ 大規模高速計算用ワークステーション
- ◆ 複写、スキャン等

修士になる前に前倒しで学部4年段階から利用可能です

最後に

- ◆ 統計・ファイナンスは狭い意味での金融工学・数理ファイナンスだけではありません。
- ◆ 金融工学を形成する基礎分野としての統計学、時系列解析、計量経済学そして計量ファイナンスをやりたい学生も大いに歓迎します。